

第2回奈良県立病院地方独立行政法人評価委員会 議事要旨

- 1 日時 平成27年7月28日(火)
- 2 場所 奈良県文化会館 第2会議室
- 3 出席者 【委員】新川委員長、飯干委員、上野委員、浮舟委員、平井委員
【病院機構】石井事務局長 他
【事務局】中川理事 他

4 会議要旨 議事

(1) 平成26年度業務の実績に関する評価結果について

本日の議論の結果を元に事務局と新川委員長で調整したものを知事に報告するという事です承。

○Ⅰ. 患者にとって最適な医療の提供

- ・事務局案です承

○Ⅱ. 県民の健康維持への貢献

- ・事務局案です承

【Ⅱ-5 平松周辺・西和地域でのまちづくりへの参画について】

- ・県の施策もあり、病院機構だけで取り組める項目では無いが、地域の意識向上につなげていく取り組みを進める上で、初年度は種蒔きの時期として評価「B」は適当。

○Ⅲ. 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成

- ・事務局案です承

【Ⅲ-1 最高レベルの医の心をもった人材の確保、育成】

- ・職員の日常の行動の変化が見えてくるかが重要。机上の資料による評価が難しい部分がある。一度、現地の視察を検討して貰いたい。

○Ⅳ. 自立した経営

- ・事務局案です承

【Ⅳ-2 経営に対する責任感をもって業務改善に取り組む組織文化の醸成】

- ・職員の表彰制度について、今まで各センター毎に行っていたものに加えて、機構全体で活用できる業務の取り組みに対して行える様検討。

【Ⅳ-3 医療制度等の変化への迅速・柔軟な対応と自立した財務運営】

- ・会議で各センターのレセプトを比較検討する事によって、診療報酬の取りこぼし等が無いか確認する体制を取っている。

【主な議論】

- ・病院収益以外の外部資金をどう獲得するかが課題。

(2) 平成26年度財務諸表の承認にかかる意見について

財務諸表については、書類の適法性、数値の適正性ともに問題ないとして、評価委員の意見としては「承認することが適当である」とする事です承。

【主な議論】

- ・財務諸表については、手続き通りに行っているため書類上の問題は無い。内容についての意見は評価結果にて意見を出す。
- ・貸借対照表、損益計算書については、中期・長期の期間の見込みを作成し、将来の財政見通しを持って運営をしていくべき。